

令和3年度第1回公立大学法人大阪運営協議会 議事要旨

- 1 日時 令和3年9月7日（火曜日）11時15分～
- 2 場所 大阪府新別館南館8階 大研修室
- 3 出席者 大阪府知事、大阪市長、
大阪府 江島府民文化部長、大阪市 岡本経済戦略局長

4 議事内容

【議題】

- (1) 公立大学法人大阪の定款の変更（案）について
- (2) 公立大学法人大阪に係る第1期中期目標の変更（案）について
- (3) 公立大学法人大阪が徴収する料金の上限の変更（案）について
 - ・事務局から、資料1、2、3に基づき、定款変更（案）、中期目標変更（案）及び料金の上限の変更（案）について説明。
 - ・原案で、9月議会に提案することを決定。

【会議全体を通じての意見】

○副会長（大阪市長）

- ・公立大学法人の第1期の中期目標変更については了承ですし、学生のみなさんの学費についての変更もすべて了承。
- ・大学の執行部の皆さんにもしっかり伝えてもらいたいが、巨額な税投入をして、これから運営をされる、期待も大きいので、中期目標の具体的な中身、もちろん、都市シンクタンク機能の強化、技術インキュベーション機能の強化等はわかるが、市民、府民のみなさんに、いつまでに何をするというそういう工程表をしっかりと示していただきたい。
- ・例えば大阪国際感染症研究センターがスタートしているが、この研究成果をいつどのような形で現れて、どういう形で府民の皆さん、市民の皆さんのそういう感染症危機事象に対してメリットが出てくるのか、こういうところ、しっかり結果を求めて、それを見える化をしていただけるように取り組んでいただきたい。

○会長（大阪府知事）

- ・松井副会長が言われた点については、しっかり反映させるように、よろしく願います。
- ・新大学（大阪公立大学）が設置認可も受け、日本最大の公立大学としてスタートする。今日は中期目標の変更、定款の変更等審議をしたが、何度も言っているように考えていただきたいのは、さきほど松井副会長から税投入の話があったが、大阪府、大阪市として税投入をしているということになる。つまり、なぜ自治体が大学を持っているのか、その意味を十分理解していただき、教員も含め、本質的なところを常に追求してもらいたい。
- ・副首都大阪をめざして、大阪が東西二極の一局として成長していくことをめざしていく、これから高齢化社会になって、少子化もどんどん進んでいく中で、府民、市民の皆さんの生活の質をあげて豊かに暮らしていただける、その時には絶対「知の拠点」が必要になってくるので、そこの役割をめざすという方向性をしっかりと定めてもらいたい。
- ・国立大学の焼き増しだったら、税を投入して持つ必要がないと思っていますし、私立大学もたくさんあるわけですから、やはり日本最大の公立大学の役割を果たしてもらいたい。
- ・今回、中期目標の変更ということで、都市シンクタンク機能と技術インキュベーション機能の二つの機能については十分発揮していただいて、大阪の都市課題の解決や産業競争力の強化、大阪の成長を支えるという、この大学が持つ本質的な意義をぜひ追求してもらいたい。
- ・これまで偏差値の中に組み込まれて、国立、私立と何が違うのかというところが見えにくかったと思いますが、これから子どもの数も圧倒的に少なくなってくるわけです。ぜひ公立大学としての本来の個性をしっかりと果たしていただきたい。